

<国民生活センターの報道発表資料について>

弊社お客様および弊社製品ご愛用のお客様 各位

謹啓

平素は、弊社製品『MyShintousuiBottle-Q』に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

さて、この度独立行政法人国民生活センターより、平成 28 年 12 月 15 日付「容器入り及び生成器で作る、飲む「水素水」－「水素水」には公的な定義等はなく、溶存水素濃度は様々です－」と題する報道発表がありました。

当社は、当該報道発表に関し、弊社製品をご愛用のお客様にご心配をお掛けする恐れがあることを強く懸念すると共に、ご心配をお掛けしたお客様に対して、深くお詫び申し上げます次第です。

弊社商品の性能、品質や安全性には全く問題はありませので、ご安心下さい。

当該報道発表に対する弊社の見解は以下の通りです。

1. テスト対象銘柄について

報道発表資料に『「売れている順」などで、上位に多く表示され、消費者が目にする機会が多いと考えられる、(中略)計 19 銘柄をテスト対象としました。』や、『テスト対象銘柄は PIO-NET の事例にあった銘柄を基に選んだわけではありません。』との記載があるように、人気且つ売れ筋の商品をテスト対象としており、国民生活センターに相談があった製品が選ばれているものではありません。

2. 効能効果等に関する表示・広告への指摘について

学術文献や、水素水振興協会主催のセミナーへ参加した際の内容を基に記載した文言であり、信憑性の高い内容であると考えておりますが、誤解を招く恐れがあるとのことから改善を行っております。

3. 報道発表資料の溶存水素濃度測定値について

MyShintousuiBottle-Q は、水素発生部に電解膜を使用しております。

使い始めは電解膜が乾燥している為、他社の電気分解方式の生成器と異なり、本来の生成能力を發揮するには数回生成を行う必要があります。

製品に表示している溶存水素濃度は、日本水素水振興協会にて測定を行い、協会の認定を受けている数値であり、その信用度に疑う余地はありません。

国民生活センターの測定値はそれとはかけ離れたものであり、本来の生成能力が發揮できない状態で測定が行われたと考えざるを得ません。

また、他社調査対象製品も表示値より悪い数値が出ている傾向にあることから、調査に用いた測定方法及び測定器の信頼性にも大いに疑問があります。

製品の生成能力は確かなものであり、溶存水素濃度の表示に偽りはありません。

国民生活センターに対しては、再三の再調査依頼をしておりますが、未だ誠意のある対応はして頂けておりません。

引き続き国民生活センターに対して、再調査を行い真実を明らかにすることを強く要求し、安心して製品を使用して頂ける様対応して参ります。

謹白

2016年12月19日

株式会社日省エンジニアリング